

中学校区におけるめざすこども像 肯定的に自己を見つめ、違いを認め、将来の夢と希望に向かって主体的に行動できる子										堺市立錦綾小学校 校長 小林 朋子			
令和8年度 重点目標 「聴く力 考える力をもつ」 「総合的な学力の向上のための指導の充実」「豊かな心と健やかな体を育成するための指導の充実」「特色ある学校づくりを通した地域協働型教育の推進」を本年度の重点目標として取り組む。 教職員の指導力の向上と子どもの自尊感情の醸成を核に、家庭・地域との連携を深め、教職員一人ひとりが十分に力を発揮し、力を結集してチームとして取り組む学級・学年・学校づくりをめざす。													
確かな学びの現状 1時間の授業の展開がつかめ、何を学んだのかわかるノートづくりができるよう、ノート指導の充実を図る。また、授業においては話し合い活動、言語活動の場の充実に努める。 ノート指導をもとに、自分の考えを表現する力を育成するとともに、自分の学習をふりかえり、自ら学びを整理できる力を育成する。また、話し合い活動を通して、聴く力を養い、様々な意見や考えを交流することで、自分の考えをより深め、課題を解決していく力の育成に取り組む。										豊かな心・健やかな体の現状 豊かな心については、児童が互いに高め合おうとする態度や自尊感情が育ってきている。本年度もこれまでの取組を継続させ、学級活動はもちろん、たてわり活動や交流活動、文化的行事において、児童が互いに聴き合い、認め合い、つながる仲間づくり、集団づくりに努める。 健やかな体については、近年、児童の体力の低下が危惧されており、体力づくりでは、6年間系統性をふまえた体育の授業の工夫、改善を進めるとともに、体育的行事の充実を図り、それを体育の授業と関連させ、学習活動を進めていく。また、休み時間にも体力の向上につながる活動の充実を図る。			
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)					
								自己評価		学校関係者評価			
確かな学び	基礎・基本の定着	読む・書く・計算する力を継続的に育成する。	朝の学習では、子どもの課題に合わせたものや、読書タイムに取り組み、基礎的、基本的な学習の定着を図る。	「朝の学習に集中して取り組んでいる」「読書タイムに集中して取り組んでいる」について肯定的回答率。	学校評価アンケート	年度末							
			家庭学習の習慣を定着させるために、宿題を含む課題の出し方を工夫し、家庭とも連携する。	「家で宿題を全部きちんとしている」について肯定的回答率。	学校評価アンケート	年度末							
	授業改善	子どもが考える授業を展開し、思考力・判断力・表現力を育成する。	全教職員が研究授業に関わることで授業力向上を図る。	「学校の授業は分かりやすい」について肯定的回答率。	学校評価アンケート	年度末							
			●ノート指導を充実させ、全ての児童が1日の学習の中で、自分の考えを書いたり、発表したりすることができる場面を作る。	「ノートに自分の考えをよく書いている」で肯定的回答率	学校評価アンケート	年度末							
			協働的な学びとして、授業中の発表だけでなく、スピーチなど、考え表現する場を設定し、聴くことで考えを深め広げる。また、1人1台のパソコンを活用することで、思考力・判断力・表現力の基礎を育成する。	自分の考えを発表するだけでなく、聴き合い、学び合う活動時間の設定割合を確保する。 「パソコンを使うことは楽しい」について肯定的回答率。	学校評価アンケート	年度末							
	豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	自尊感情・自己肯定感を高め、自他ともに大切にできる豊かな人間性を育成する。 主体的に目標を設定し、その達成をめざして行動できる力を育成する。	●★児童一人ひとりの存在を認め、自分で決めた目標に対して、最後までやり遂げることで得られる成就感や達成感を大切にしたい関わりに努め、児童の自尊感情を醸成する。 「いじめアンケート」等の実施で、いじめのサインを見逃さず、情報の共有を密にする。	「自分にはよいところがある」「決めた目標に向かって努力している」「自分だけでなく、みんなが楽しめるようにがんばっている」で肯定的回答率。 児童や学校の現状、実態等の情報共有。対策会議の開催。	学校評価アンケート 実践報告	年度末 毎学期						
教科領域との関連性も図りながら、計画的・継続的に道徳教育を充実させる。				子どもの実態に応じて、教科書や、その他の資料の計画的・効果的な活用実態。	実践報告	年度末							
地域の方との交流を深めたり、系統性を持たせた国際理解教育の一層の推進に取り組んだりすることにより、多様な価値観でつながる人々について理解できる児童を育てる。				地域の方との交流の実施。 多文化クラス(はぐくみ、よすが)で活動と、国際理解教育の実践。	実践報告	年度末							
体力向上		運動に親しむ環境を整え、体力を向上させる。	「なわとびチャレンジ」のねらいを明確にしたうえで、授業の初めの10分間を使って取り組む。体力向上に積極的に取り組み、楽しく運動する習慣を身につける。	「なわとびを体育の時間、一生懸命取り組んでいる」「体力を高めようとかんがっている。(休み時間に外で遊んでいる、めあてをもって体育の授業に取り組んでいる)」で肯定的回答率	学校評価アンケート	年度末							
			「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を身につける。	「早寝、早起きをしている」「毎日朝食を食べている」で肯定的回答率	学校評価アンケート 保健調べ	年度末							
地域協働		信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域とともに歩むチーム学校づくりを進める。	●学校ホームページ、学校通信等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。	学校HPを毎日(課業中)更新し、アクセス数を増やす。	実践報告	毎月						
	地域の人材を積極的に活用し、地域とともに歩むチーム学校づくりを推進する。			芝生の維持・管理 芝生での活動	実践報告	年度末							

校長より(年度末)							学校関係者評価者から(年度末)				